

各位

令和5年12月15日

岡山大学学術研究院環境生命自然科学研究科
作物生産技術学分野 准教授 田中佑

東京農工大学農学研究院
作物学研究室 准教授 安達俊輔

岡山大学および東京農工大学における特任助教の募集について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、私達、岡山大学と東京農工大学の研究グループでは特任助教（任期付）を計2名募集いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名・人数

特任助教・2名（岡山大学に1名，東京農工大学に1名）

2. 所属

岡山大学学術研究院環境生命自然科学研究科

もしくは

東京農工大学農学研究院

3. 研究内容

今回募集する特任助教は、福島国際研究教育機構 (F-REI) の委託事業である「植物の CO₂ 固定及びネガティブエミッションへの利用に関する研究開発と実証」において、「福島発ネガティブエミッション農業実現に向けた水稲の CO₂ 固定機能強化技術の開発」についての研究を推進していただきます。

農作物による CO₂ 吸収量は、世界の森林による年間 CO₂ 吸収量を上回ります。生産された農作物の大部分が食料や飼料として消費されるので、農作物による CO₂ 吸収はネガティブエミッション技術 (NETs) として認められていません。しかし CO₂ 固定機能の強化を通じて食料・飼料需要を上回るバイオマスを生産できれば、脱炭素技術への転用が可能となり

ます。日本の農耕地においてネガティブエミッションに貢献しうる最大のポテンシャルを有するのは耕地面積の半分以上を占める水稲作です。そこで本事業では、水稲の CO₂ 固定機能、すなわち光合成能力やバイオマス生産性を高めるための技術開発を推進します。

具体的には、

- ・水稲の光合成速度を高精度かつ高効率に測定可能な技術の開発及び改良
- ・水稲のバイオマスおよび収量を高効率に測定可能な AI 画像解析技術の開発および改良
- ・世界最大級の水稲多様性パネルを対象とした CO₂ 固定機能のフェノタイピング

について、PI との連携のもと主体的に取り組んでいただきます。

さらにプロジェクト内の他機関との連携のもと、

- ・水稲の CO₂ 固定機能に関するマルチオミクス解析
- ・福島県浜通りの試験圃場におけるネガティブエミッション農業の実証

にも携わっていただくことが可能です。

本プロジェクトではフィールドにおける作物栽培試験を遂行しますが、個別の解析技術については PI のもとで経験を積んでいただくことが可能です。熱意をもった若手研究者を求めています。

4. 採用予定時期

令和 6 年 4 月 1 日以降の可能な限り早い時期

5. 応募資格

博士の学位を有する、もしくは採用予定日までに取得見込みであること

6. 雇用条件

- ・業務内容

上記の通り

- ・雇用期間

令和 6 年度より 1 年ごとの更新。最長で令和 11 年度まで (6 年間)。ただしプロジェクトの進捗次第で変更することがある。

- ・就業時間

専門業務型裁量労働制 (岡山大学)

月～金 8:30-17:15 (東京農工大学)

- ・就業場所

国立大学法人岡山大学 (岡山県北区津島中 1-1-1)

国立大学法人東京農工大学 (東京都府中市幸町 3-5-8)

- ・給与

国立大学法人岡山大学有期年俸制適用職員給与要項、および

国立大学法人東京農工大学年俸制給与に関する規定による。

7. 提出書類

令和6年1月19日（金）までに、下記書類を提出先宛に email で提出すること。
なお候補者が内定した段階で募集を締め切る。

①履歴書（様式自由）

②研究業績リスト（様式自由）

③主要業績の PDF ファイル（3 件以内）、

④希望する所属（岡山大学もしくは東京農工大学）と志望動機（A4：1 ページ以内、様式自由）

8. 書類提出先および問い合わせ先

岡山大学 准教授 田中佑

yutanaka@okayama-u.ac.jp

086-251-8319